

平成29年度

境 港 市

第4回校区審議会

資 料

平成29年8月24日（木）

平成29年度 境港市校区審議会（第4回）

日 時 平成29年8月24日

16時より

会 場 市役所第一会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 概要説明

4. 審 議

○誠道小学校の今後の方向性について

○次回審議会の内容について

5. その他

6. 閉 会

第3回校区審議会を終えて論点整理

○議論の大枠として「中学校区に一つの小中一貫校」と考え、「一定の人数を集める」という方向に議論していることは皆で共有している。それまでの間、「極小規模の誠道小学校をどうするか」という議論をしている。

○市内の他の6つの小学校と比べると、誠道小学校は違った条件になっている。その中で子どもたちはその教育（誠道小学校）を選ばざるを得ない。そのことをよしとするかどうかという大局的な議論も必要。

○誠道小学校に小規模の良さやメリットがあるから、それをいかしていきましょうという議論を後から付け加えるのは少し無理があるのではないか。

○特認校制度を取り入れることは、中学校区での小中一貫校、コミュニティ・スクールへの流れの中で、論理的に無理があるのではないか。導入するにしても、小中一貫校ができるまでの期間限定の制度になってしまう。

○誠道小学校が極小規模になっても、「何とか維持していきます」という「何とか」の部分が、学校選択制で担保していけるかは不確定。それでもそのような方法で維持するのか、そもそもそのような方法で維持していくことにも無理があると考えなのか。

○学校選択制にしたとき、誠道小学校に魅力を感じて、近隣の保護者の方で誠道小学校を選択する方があれば、それも一つの方法。（極小規模を最小限に食い止めながら一貫校に向かってどう進めるかという現実的なステップ）

○平成32年度より新学習指導要領が完全実施となる。この時期についても考えていく必要がある。

○「校区の再編成」という方法は、地域の方の理解を得ることはかなり難しい。

○最終的な方向性として、一つの結論にまとまらなければ、答申として複数案を挙げることも考えられる。

※具体的な方法論について（第3回の審議会の中で話された意見）

○「夕日ヶ丘の第1子」から誠道小学校に就学させる

○3小学校を一度に統合し、小中一貫校にするのが一番よい方法

○誠道小学校の校区を大規模に広げず、小規模に広げる方法（小規模の特徴を生かしつつ、その特色に賛同する保護者が学校選択制を利用することで、保護者のニーズに応えていく）

○余子小学校との再統合が現実的な方法

誠道小学校の今後の在り方について（最終答申に向けて）

1. 諮問について

○学校の編成の方向に照らした誠道小学校の在り方

「現在も児童数が大きく減少し、将来大きな増加が見込めない誠道小学校のあり方について、この学校編成の方向に照らしながら、早期に編成を検討し決定する必要がある。また、現在在籍する児童のためにも適切な教育環境を早期に検討することが求められる。」

2. 諮問に照らして考える

①「将来大きな増加が見込めない誠道小学校」

	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 平成31年	2020年 平成32年	2021年 平成33年	2022年 平成34年	2023年 平成35年
6年	10①	9①	10①	7①	6①	12①	6①	(7)①
5年	9①	10①	7①	6	12①	6①	(7)	(8)
4年	10①	7①	6	12①	6①	(7)	(8)①	(12)①
3年	7①	6	12①	6①	(7)	(8)①	(12)①	(12)①
2年	5	12①	6①	(7)	(8)①	(12)①	(12)①	(7)①
1年	14①	6①	(7)①	(8)①	(12)①	(12)①	(7)①	(7)①
計	(55)⑤	50⑤	(48)⑤	(46)④	(51)⑤	(57)⑤	(52)⑤	(53)⑤
全	(57)⑥	53⑥						
教員配当 基準	8	8	8	7	8	8	8	8

これからの6年間は、児童数の大きな増加は見込めないが、現在とほぼ同じ概ね50人前後で推移する。また、このままの児童数では、毎年複式学級は存在することになる。（複式学級は15人以下での編成となるので、16名になれば単学級になる。）

②「現在在籍する児童のためにも適切な教育環境を早期に検討する」

現在の誠道小学校の教育環境をどう捉えるのか。

第2回の校区審議会資料にも示したとおり、現在少人数ではあるものの様々な学習指導を試み、デメリットを克服しつつ少人数のよさを生かした学校経営がなされている。しかし、複式学級となっている学年は人数も少なく、多様な学習形態や協同的な学習を行うに

は困難な面が見られるため、複式学級が解消されることが教育環境の改善の第一段階とも考えられる。(1学年が10名前後、あるいは10名～15名程度を最低人数と考える)

まず、複式学級の解消を進めようとするなら、他校との統合の方法に加え、学校選択制(例えば、ブロック(中学校区)小規模特認校制)や、一部の近隣地域からの就学なども考えられる。しかし、確実に複式学級を解消できるかどうかは不確定である。

また、1学級が20名以上という形で少人数を解消し、他小学校と同じ規模まで改善する状況が、適切な教育環境であるにとらえる考え方もある。(教育環境改善の第二段階)

1学級が20人以上であることが適当であると考えれば、余子小学校との再統合がもっとも具体的な方法である。

③「この学校編成の方向に照らしながら」

中間答申においては、「現在の中学校の校地に小中一貫校を新設または増設するのが適切である」と示された。この学校編成の方向に照らして考えると、「一度に3校を統合して、小中一貫校とする」という方法と、「最終的に一貫校になるのだから、先に他の小学校と統合しておく」という方法も考えられる。しかし、児童や各校、各地域にとって最も負担が少ないのは、一度に3校を統合する方法と思われる。

昨年の審議会で、第二中学校区で3小学校を統合し、小中一貫校とするまでの期間は10年～12年前後と示した。これは、「美保飛行場周辺まちづくり基本計画」に基づいた公共事業の終了時期をもとに、財政的な面を考慮して教育委員会事務局で協議して示したスケジュールであり、確定したものではない。最終答申後の教育委員会、さらに市長部局との協議によっては、早まることになるかもしれないし、他の中学校区が優先されるかもしれない。この審議会として「早期に編成を検討する」ことに対して、審議会としてどのように意見をまとめ、最終答申に盛り込むのか。

しかし、協議の結果、やはり10年～12年後になるかもしれないという可能性もあるので、この場合については誠道小学校の在り方は、どのような形が適切なのか、教育的な視点も考慮しながら、具体的な方法を考えなければならない。(最終答申に、複数の方法を示す方向についても検討)

3. 具体的な方法(例・イメージ)

(a) 余子小学校と再統合

平成30年度、31年度を準備期間として、平成32年度より再統合の小学校(統合後に使用する校舎についても検討が必要)

(b) 極小規模の解消についての手立てを行い存続

「第二中学校区(ブロック)小規模特認校制」などが考えられる。(小中一貫校、CSの導入を鑑み、現在の校区を基本としながら、第二中学校区の範囲で、誠道小学校への転

入学を認める制度)

(c) 早期に小中一貫校を開設する。(6年後を想定)

(d) その他の方法(夕日ヶ丘の第1子から誠道小学校へ就学など)

★今後のイメージ(例:再統合、一貫校化の年度は仮定)

(a) 余子小学校との再統合

平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40
余子小学校										
誠道小学校										
再統合の小学校									小中一貫校	

(b) 誠道小学校存続(極小規模の解消の手立てあり)

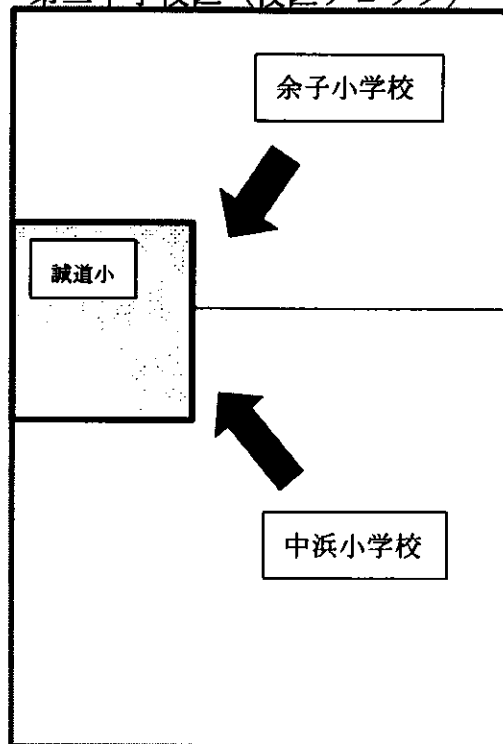
平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40
誠道小学校(学校選択制または小規模特認校制)									小中一貫校	

(c) 早期に小中一貫校化

平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40
余子小学校										
誠道小学校										
中浜小学校										
					小中一貫校					

★第二中学校区(ブロック)小規模特認校制のイメージ

第二中学校区(校区ブロック)



現在の小学校区を残しながら、誠道小学校を小規模特認校とし、第二中学校区の中で、誠道小学校区以外の小学校区(余子小学校区、中浜小学校区)からの転入学を認める方法

参 考 資 料

鳥取市立湖南学園学校要覧

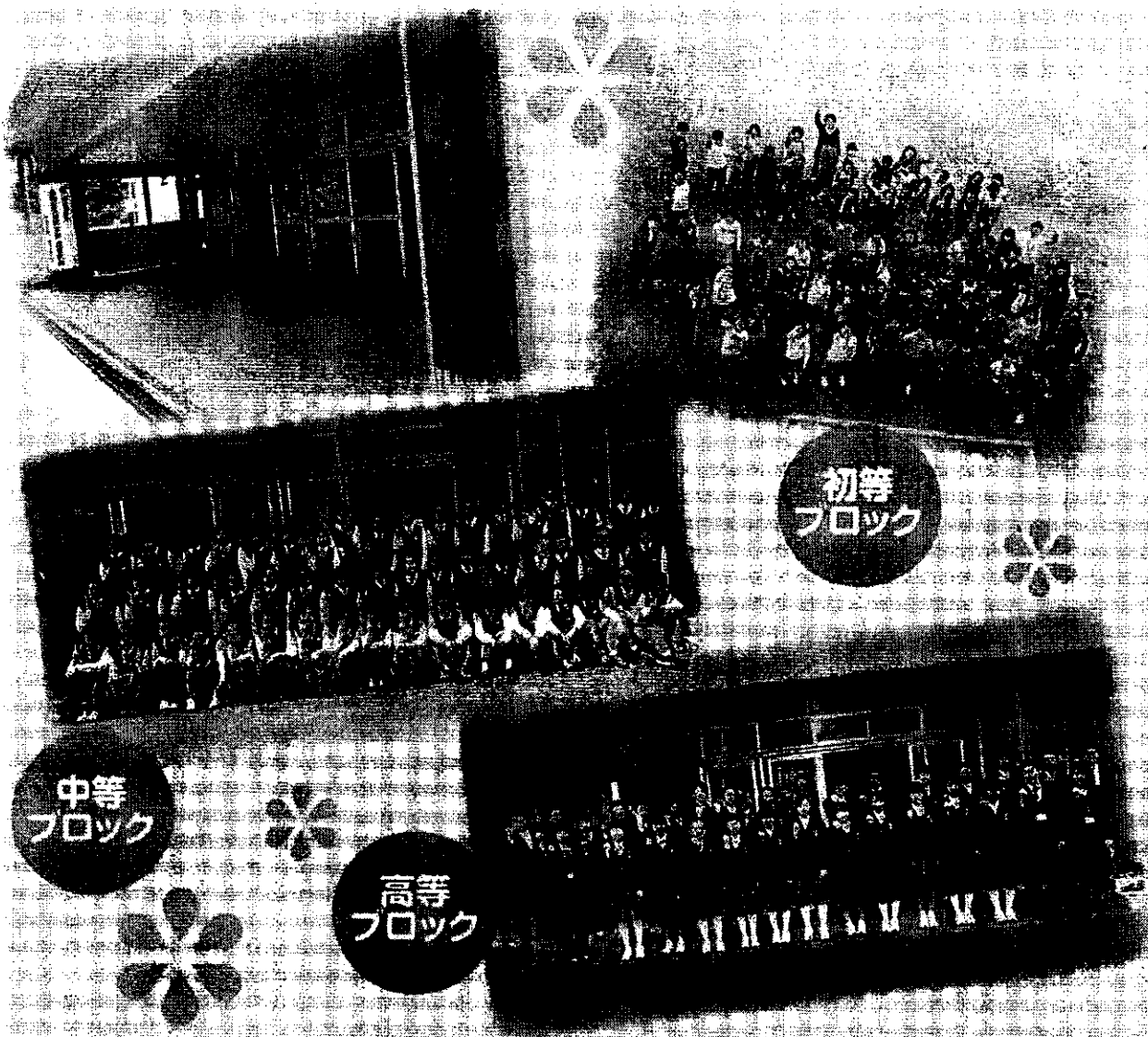
鳥取市立明治小学校 小規模特認校制度 募集パンフレット

鳥取市立東郷小学校 小規模特認校制度 募集パンフレット



平成29年度

鳥取市立湖南学園



初等
ブロック

中等
ブロック

高等
ブロック

校歌

作詞 伊藤 學

作曲 新倉 健

1 朝陽に映えるさざ波が
水面にきらめく湖山地
歴史の泉に純白の
新たな風がわきあがる
ああ学舎 湖南学園
未来を描く 我ら若人

2 真理の道を求めつつ
勉強いそしむよるこびが
緑の息吹にさそわれて
連なる山にこだまする
ああ学舎 湖南学園
世界を翔る 我ら若人

3 大地の恵み温泉の
豊かな心にいだかれて
友の輪広げて手をつなぎ
遙かな夢を語りあう
ああ学舎 湖南学園
友情永久に 我ら若人

鳥取市立湖南学園小学校 メール1 konan-c@mailk.torikyo.ed.jp
鳥取市立湖南学園中学校 メール2 konan-j@mailk.torikyo.ed.jp
〒680-1443 鳥取市大反田1番地の5 電話(0857)57-0021 Fax(0857)54-0429
ホームページ <http://cisweb.torikyo.ed.jp/konan-g/>

キーワード グローバル化に対応した英語教育の推進

4つの「つながる力」

- ①学習を通して「つながる力」
 - ②人と「つながる力」
 - ③地域と「つながる力」
 - ④未来へ「つながる力」
- 発信力**

伝える力(発信力)が伸びると
コミュニケーション力が向上し
豊かな人間関係を築いていく

ICT活用・グローバル化に
対応した英語教育の推進



ICT活用



イングリッシュキャラバン

英語教育のさらなる充実

- ①ゴール(9年卒業)時の確かな力となるような英語教育の見直し
▶ 先進校への学校視察や研究会の参加 ▶ 英検の推進、外部講師による英語授業の体験
- ②「English Caravan in 湖南」等をはじめとした外国の方との交流活動の計画的実施



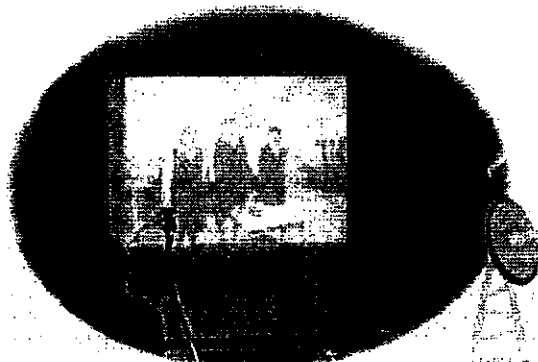
ALTとの授業



English Room

コミュニケーションツールとしてのICT機器活用へ

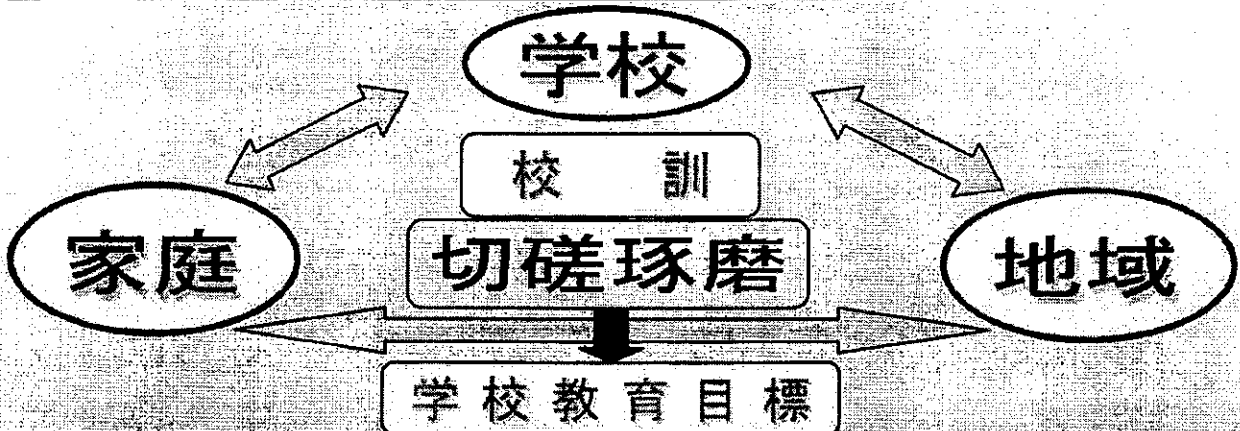
- ①コミュニケーション科をはじめとし各教科での活用を推進 ▶ ツールとしての教育効果を模索
- ②国内外の小中一貫校との継続的な交流活動の推進



テレビ会議システムを活用した高知市立土佐山学舎との遠隔地交流授業

ミッション

一貫校で 人づくり 地域づくり



心身を鍛え、知を磨き、ふるさとに誇りをもつ児童生徒の育成

めざす児童生徒像

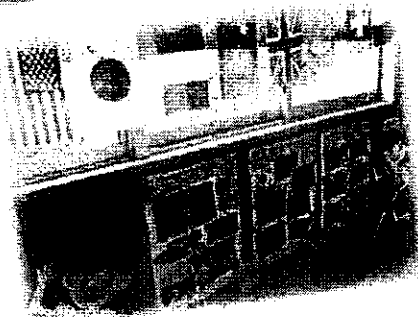
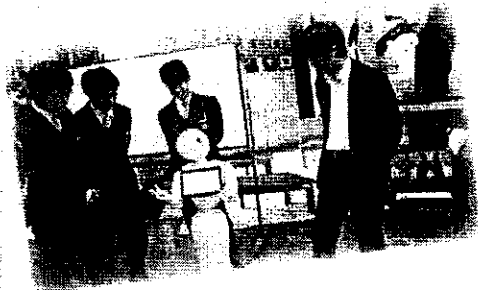
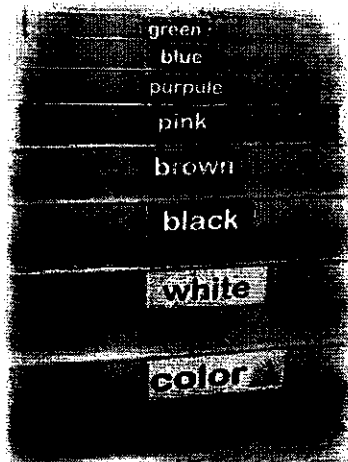
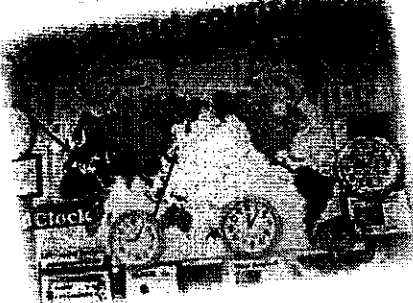
よく	広く知り深く考え、知を磨く（自立した学びができる）
敬う	礼を尽くし、己を律して他を敬う（立場を考えた言動をとる）
競う	競い合い、共に励まし高め合う（互いに切磋琢磨できる）
つなぐ	共に手をつなぎ、未来を切り拓く（湖南の未来を考える）

9年間の学びの流れ （系統性と連続性）



創立10周年記念～これまでの歩み～

英語ルームの新設、掲示板や階段等の工夫



「一貫校で 人づくり 地域づくり」 (開校以来のミッション)

- 湖南学園の成り立ち、歴史、伝統に学ぶ▶原点を知る
- 小中一貫校から義務教育学校(平成30年度～)へ
▶流れに棹さす▶一貫校の一体感をさらにパワーアップ
- 地域の信頼と期待を受けて今▶信頼の絆を深める

校訓「切磋琢磨」

- 互いに磨き合い、高め合う仲間づくり<向上心>
▶関わりの中で育ち、自他を認めて向上をめざす姿勢
- 粘り強く取り組む習慣、継続は力なり<習慣力>
▶将来を見据え、日々自分と向き合い、努力を積み重ねていく姿勢
- 学園全体をリードする意識づくり<自治力>
▶リーダーとして自分の言動に責任をもち、率先して導こうとする姿勢
▶他と協力しながら、個としての力を最大限発揮しようとする姿勢

平成29年度<重点目標>

- 明るく活力溢れる学園に
～あいさつ・対話・つながり～
▶教職員自ら率先垂範、各ブロックの発達段階に応じた指導の徹底
- 「ひと・もの・こと」への関心・意欲・態度を醸成
～トピックからコミュニケーション力向上～
▶NIE、ICT、土佐山学舎・台北市立国民学校との交流等を活用
- 小中一貫校10年の歴史に学ぶ
～湖南学園創立10周年を迎えて～
▶家庭・学校・地域のこれまで、そしてこれから

創立10年目の挑戦

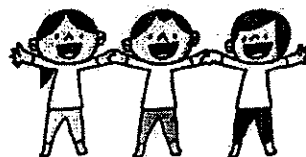
学校教育目標

- 「心身を鍛え、知を磨き、ふるさとに誇りをもつ児童生徒の育成」
- 明るく活気ある学園をつくる
- 挑戦をととして自己を磨く
- 人を大切にする心を育む



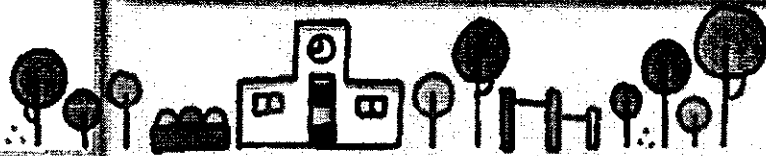
知・徳・体のバランスのとれた人間形成

- 基本的な生活習慣の確立
- 健康な体づくり
- 互いの尊重、思いやり
- 切磋琢磨する心の醸成
- 個に応じた指導の徹底
- 進路の実現



児童生徒の主体的な学園生活をめざした自治力の向上

- 相手を尊重した人間関係をつくる(仲間づくり)
- 気遣いのできる自分になる(謙虚・奉仕)
- 仲間を大切にする心を育てる(友愛・友情)
- 確かな学力を身につける(自制・努力)
- 挑戦する心を育む(向上心・探求心)
- 困難に立ち向かう勇気をもつ(克己・忍耐)
- 自分の将来の夢を育てる(進路)



一貫校の歩み～10年目の挑戦～

地域

地域振興を図る地域の自主的な取り組み

鳥取市

児童生徒の減少に対し義務教育を一体としてとらえる施策
鳥取市小中一貫校推進事業の開始

推進の経過

準備

平成16年度

平成19年度

「小中一貫校研究推進委員会」の設置
「小中一貫校検討委員会」の設置
「小中一貫校推進委員会」の設置
「鳥取市小中一貫校推進指定校」
「構造改革特別区域計画」申請・認可

第1期

平成20年度

隣接型一貫校として開校
文部科学省教育課程特例校認可
一部教職員の小中兼務

平成21年度

一体型校舎による小中一貫校のスタート
全職員小中兼務体制 小中PTAを統一
足湯「ふれあい湯」完成
学級委員制度復活、二月修学旅行
小林竜一選手(ボブスレー)杜行会

平成22年度

小中一貫校春季発表会 小中一貫校秋季発表会
小規模特別転入制度導入
校訓「切実琢磨でんづくり」
「学びナビ」「くらしナビ」作成
地域の祭りに参加 校区内縦割り駅伝

平成23年度

小中一貫教育推進事業モデル校指定(H23～25年度)
自主研究発表会 5、6年生に新制服導入
新制服導入 全学年一部教科担任制
初等ブロック児童会スタート
たてわり運動会 家庭学習の手引き作成

平成24年度

小中一貫校教育研究実践発表会
郡山市立湖南小・中学校との交流
ソーラン隊結成 中等COM(鳥の創造)
湖南お役立ち隊(6年生)

平成25年度

小中一貫教育実践研究発表会
6年生部活動参加開始(後期)
家庭学習ノートコンクール
男子テニス部中国大会出場 達人から学ぶ
災害時保護者引き渡し訓練

平成26年度

鳥取市教育委員会指定未来のとっとり教育創造事業
～グローバル化に対応した英語教育～(H26.27年度)
小中一貫教育実践研究発表会
グローバル化に対応した英語教育
「湖南学園体操」完成 イングリッシュキャラバン
「湖南PR大作戦」(8年修学旅行)

平成27年度

小中一貫教育実践研究発表会
日南中学校との交流会
「科学の甲子園ジュニア」県大会優勝
「人情の花」贈呈式

平成28年度

小中一貫教育実践研究発表会(12/8)
台北市立文化国民小学校との交流会
プロフェッショナルに学ぶ
テレビ会議システムで交流学習(高知土佐山学社)
100人で巡る湖南オリエンテーリング

平成29年度

創立10周年記念式典(11/18予定)

平成29年度 職員名簿(分掌・教科・部活動担当)

教務・事務

片山 敬子	校長	中
藤原 祥子	副校長 図工	小
石本 秀哉	教頭 数学	中
長谷川理恵	教務主任 音楽 図工 研究主任 華道部	小
前田 寛子	教務主任 算数 数学 ソフトテニス女子	中
小濱 佳子	事務主幹 総務部長	中
澤 宏樹	事務主事	小
西川ひとみ	学校囃託員	兼

初等ブロック (1年生～4年生担当)

森下 人志	ブロック長 初任研担当	小
石谷 静	1年担任	小
村田 明代	2年担任 特別支援教育主任	小
戸板 正哉	3年担任 保体主事	小
佐々田裕子	4年担任 学習部長 茶道部	小
竹中友香代	いすみ学級担任	小
坂口 由佳	こだま学級担任 ソフトテニス男子	小
横原 珠紀	特別支援教育支援員	小
奥村 理恵	音楽 アンサンブル	中

中等ブロック (5年生～7年生担当)

福田 仁	ブロック長 社会 ソフトテニス男子	中
大黒 晃嗣	5年担任 保体部長	小
川口 恵里	6年担任 生徒指導担当 生活部長	小
坂口 亮子	7年担任 人権教育主任 ソフトテニス女子	中
西谷 淳子	学校司書	中
小谷 麻子	養護教諭 教育相談	小
ティ・リーミング	ALT	中

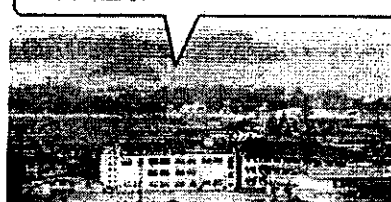
林田 卓也	ブロック長 技術家庭 理科 進路指導主事 バレーボール女子	中
田口 謙二	8年担任 生徒指導主事 バスケットボール男子	中
藤田 大樹	9年担任 英語 特活部長 研究主任 バレーボール女子	中
伊藤奈緒子	補担 保健体育 バスケットボール男子	中
奥田 愛実	養護教諭	中
青野 純子	美術	中
佐々木秋子	家庭科	中

小・・・小学校が本務、中学校が無務の職員 中・・・中学校が本務、小学校が無務の職員
兼・・・小学校、中学校兼務の職員

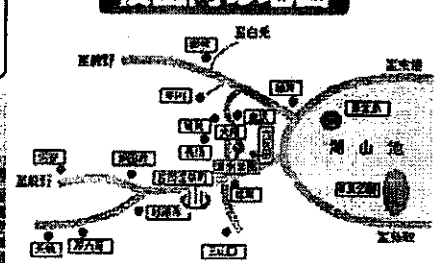
「学区の概要」

本校区は、鳥取市中心部より西へ約10km、池の中では日本一の面積を誇る湖山池南西に位置し、平成22年に世界ジオパークネットワークに加盟した山陰ジオパーク域内にある。四季を通じてさまざまな表情を見せる湖山池、ホテルが乱舞する長柄川、長柄川の源流である毛無山の山並み、千年以上の歴史をもつ吉岡温泉など、歴史と文化が息づいている地である。

日本一の面積を誇る湖山池を背景に、一貫校10年目となる湖南学園の校舎全景



校区内の地図



教育課程

- ・県教育振興計画の基本理念「自立した心豊かな人づくり」と市教育ビジョンのめざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の具現化
- ・学習指導要領の理念と内容の実現を目指した小中一貫教育の推進
- ・9カ年を見通した系統性、継続性のある編成と知・徳・体を磨く教育活動の展開

カリキュラム表

	初 等				中 等				高 等
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
国 語	308	315	245	245	175	175	140	140	105
社 会			70	90	100	105	105	105	140
算 数 / 数 学	136	175	175	175	175	175	140	105	140
理 科			90	105	105	105	105	140	140
生 活	102	105							
音 楽	68	70	60	60	50	50	45	35	35
図 工 / 美 術	68	70	60	60	50	50	45	35	35
家庭 / 技術・家庭					60	55	70	70	35
体育 / 保健体育	102	105	105	105	90	90	105	105	105
外 国 語							140	140	140
道 徳	34	35	35	35	35	35	35	35	35
特 別 活 動	34	35	35	35	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間			40	40	50	50	35	35	35
コミュニケーション科	34	35	45	45	60	60	35	35	35
総 課 時 数	884	945	960	995	1005	1005	1035	1015	1015

生活時間表

	初 等	中 等・高 等
朝 の 読 書	8:15～8:25	8:15～8:25
朝 の 会	8:25～8:40	8:25～8:35
1 校 時	8:40～9:25	8:40～9:30
2 校 時	9:35～10:20	9:40～10:30
中 間 休 憩	10:20～10:35	
3 校 時	10:40～11:25	10:40～11:30
4 校 時	11:35～12:20	11:40～12:30
給 食	12:20～13:05	12:30～13:05
昼 休 憩	13:05～13:30	13:05～13:30
講 義	13:35～13:50	13:35～13:50
ぐんぐんタイム	13:50～14:05	13:50～14:05
5 校 時	14:05～14:40	14:05～14:55
6 校 時	15:00～15:45	15:05～15:55
終 り の 会	15:45～16:00	15:55～16:10

段階的な教科担任制 & 小中相互兼任授業

☒ ... 小中相互兼任
 ☐ ... 教科担任による指導
 TT ... ティームティーチング

教科	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
国 語								TT	TT	
算 数 / 数 学	TT	TT				TT	TT	TT	TT	
生 活	TT	TT								
社 会										
理 科								TT	TT	
音 楽										
図 工 / 美 術	TT								TT	
体育 / 保健体育	TT	TT	TT							
外 国 語										
道 徳									TT	
総合的な学習の時間										
コミュニケーション科	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT
特別活動	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT
その他										
総合的な学習の時間	5/6	4/6	4/7	3/7	4/8	3/6	6/9	1/9	1/9	

児童生徒数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小学校	7年	8年	9年	中学校	学 園
男子	8	15	11	10	7	10	61	10	9	6	25	86
女子	3	9	4	9	10	4	39	9	5	7	21	60
計	11	24	15	19	17	14	100	19	14	13	46	146

行事予定

期 間	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	始業式・1年入学式 たてわり連絡会 リーダー研修 6年県外学習 学習参観 PTA総会	マラソン大会 全校遠足 定期テスト 学習参観 避難訓練	東部中総体 4・5・7年吉備宮泊研修 8年職場体験学習 ワクワクこなん 個別懇談 東部中水泳 東部中陸上	定期テスト 東中総体 市小水泳大会	湖南まつり 夏休み明けテスト 東小水泳大会	湖南地区大運動会 高校説明会 市小陸上大会 東部中駅伝 避難訓練 たてわり引継式
後 期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	個別懇談 リーダー研修 こなん駅伝 前期終業式 秋休み 後期始業式 東部秋季大会 県小陸上大会	10周年記念式典 定期テスト 学園祭 市中合同文化祭 学習参観 連合音楽会 6年部活動参加 自主研究発表大会 東中駅伝	研究発表会 個別懇談 学習参観 避難訓練	冬休み明けテスト 9年進路懇談 学習参観 進級説明会	定期テスト 8年修学旅行 高等修了宣言 個別懇談	たてわり班解団式 9年卒業式 初等・中等修了宣言 6年小学校課程修了式 4・7年ブロック修了式 修了式



鳥取市立明治小学校



学校が好きになる 笑顔あふれる小学校



学校が楽しいと
勉強も楽しくなる！



スポーツも楽しみながら
能力を伸ばす！



行事時間たくさん！
他校との交流も楽しい！



豊かな自然を休養できる環境



少人数指導による
きめ細かな教育

児童募集

小規模校転入制度

一緒に明治でのびのびと成長しませんか？

平成27年度の募集期間

平成26年12月1日

～平成27年2月27日

少人数だからできるきめ細かな学習指導

学校見学会・体験入学

毎週金曜日は学校見学受付中！体験入学も随時受け付けています。
お子様と一緒に保護者様だけでもお気軽にお越しください。

（ご都合の良い日時で調整もできます。）

放課後子ども教室も充実
遠距離通学費補助制度あり

鳥取市 明治小学校



検索

お問い合わせ

鳥取市立明治小学校 〒680-1423 鳥取市松上159

TEL 0857(56)0001

鳥取市教育委員会

TEL 0857(20)3089

少人数だから良いところがある

自然いっぱいの恵まれた環境

昔ながらの自然環境が、子どもたちの「人間力」を育みます。裏山の『やまびこ遊園』では各種遊具で遊べ、冬はスキーも楽しめます。川、山、森などで経験する本物体験は明治の魅力です。



小さいからこそ、できることは無限大

少人数によるきめ細かな学習指導が可能です。分からないことが分かるまで、個人に寄り添ったサポートが児童の力を伸ばします。



小規模校転入制度

平成27年度入学児童を募集しています。校区外でも通学できます。一緒に楽しい小学校生活を送りませんか。
平成27年度募集予定＝平成26年12月1日～平成27年2月27日



金曜日は見学デー、体験入学も

毎週金曜日は学校見学デー。お子様と一緒に保護者様だけでもお気軽にお越しください。体験入学も随時受付中。
個人情報およびプライバシーは厳守いたします。日時などご相談ください。



児童募集

鳥取市立明治小学校



〒680-1423 鳥取市松上159

0857(56)0001

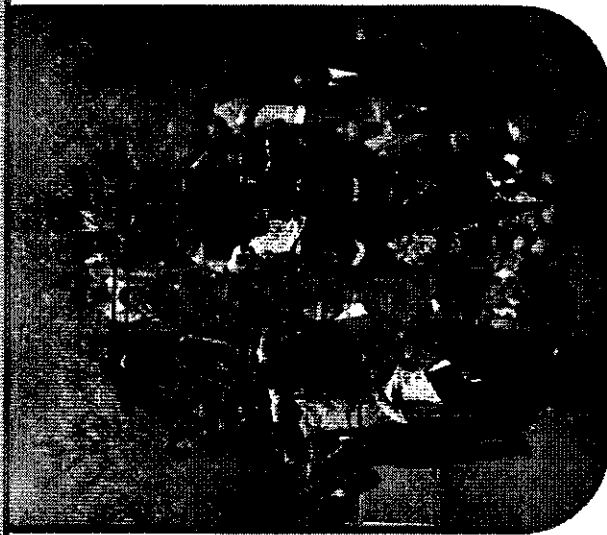
鳥取市教育委員会

0857(20)3089

放課後
遠征部
活動中

小規模校転入制度で 校区をこえて転入できるだえ!!

少人数でゆったりのびのび学習



鳥取市立東郷小学校

鳥取駅より車で約10分（鳥取IC近く）



大自然の中でとろんこまっつい!!

来てこない!!

まってるよ～

放課後子ども教室があるよ～～

授業終了後から午後6時半まで

全年齢対象 長期休業中も実施



お問い合わせ先

鳥取市立東郷小学校

鳥取市篠坂6-1

TEL 0857-53-2542

<http://www.torikyo-ed.jp/ttogo-e/>

《見学・体験入学随時受付中》